



～何かにつけてちょうどええまち「ひがしなり」の実現をめざして～

経営課題1 みんなが協働しイキキしているまち



◆令和8年度の基本方針

- ・区の良き財産である「つながり」を守りながら深化させるとともに、多様な主体（国籍、世代、企業・団体）の参画により「つながり」をさらに活性化・発展させ、「つながり」を東成の未来につなぐための施策を推進する。
- ・豊かな地域コミュニティを持続させるため、新たな担い手を継続的に確保できるよう地域と協働し、区民が地域の強い結びつきや参加する喜びを感じられるよう取組を支援する。

◆地域コミュニティの推進

（課題と主な戦略）

- ・多様化する地域課題へ対応するため、地域活動協議会（以下、「地活協」）に対して地域の実情に応じたきめ細かな支援を行う。
- ・コミュニティの希薄化や地域活動の担い手の固定化に対応するため、地活協の中核組織である地域振興会（町会）への加入促進と、将来の担い手創出の仕組みづくりを行う。

（具体的な取組）

- ・中間支援組織を活用した、地活協の自律的運営にかかる支援（組織運営、広報支援、会計支援等）
- ・地域活動の継続・拡充のベースとなる環境づくりに向けた、「東成区町会加入促進アクションプラン」による、町会への加入促進
- ・東成区の財産である「つながり」をさらに活性化させ発展していくために、将来の担い手となる学生世代を対象とした地域活動の仕組みの構築



地域の広報担当者交流会



町会加入を呼びかけるチラシ

◆つながりの活性化

（課題と主な戦略）

- ・地域資源である企業・団体等がそれぞれの強みを生かして連携できるプラットフォームやネットワークづくりが重要である。
- ・多様な担い手の「つながり」を新たに作りまた深化させるため、「ひがしなりソケット」の支援や「東成区SDGs宣言制度」などを有効活用しながら企業・団体等の連携を促進する。

（具体的な取組）

- ・ひがしなりソケットの活動支援
- ・東成区SDGs宣言の宣言企業・団体の相互連携を促すネットワークづくりの推進
- ・「東成区SDGs宣言制度」の広報、宣言企業・団体の宣言内容のPR
- ・区内4中学の中学生と区長が意見交換を行う「ひがしなり未来会議」の実施



ひがしなりソケット
地方創生カードゲーム



ひがしなり未来会議



～何かにつけてちようどええまち「ひがしなり」の実現をめざして～

経営課題2 地域の活気と安心が共に息づくまち



◆令和8年度の基本方針

- ・伝統や歴史ある文化のみならず、（「住工共存」により）まちの活力と安心を築いてきたモノづくり企業が持続的に継続・発展できる場の提供など、東成区のアイデンティティを地域の誇りとして次代に継承する。
- ・大規模災害に備え、区民、地域、企業等が自助・共助の視点に立ち、避難に支援が必要な方の避難支援や、災害時に適切な行動をとることができるよう地域防災力のさらなる向上を図る。
- ・地域や警察などの関係機関と連携し、複雑化・巧妙化する犯罪に対する区民の防犯意識のさらなる向上を図る。

◆地域活性化

（課題と主な戦略）

- ・東成区がモノづくりのまちであることを周知するため、体験型イベントを実施する。
- ・東成区の伝統工芸に区民が直接ふれあう場を提供する。

（具体的な取組）

- ・企業の出展による体験型イベント「東成子どもモノづくり体験フェスタ」、工場見学会「わが町工場見てみ隊」の開催
- ・「深江菅細工保存会」の会員を講師とした、「菅・竹細工体験教室」の開催 など



東成子どもモノづくり体験フェスタ



菅・竹細工体験教室



わが町工場見てみ隊

◆防災

（課題と主な戦略）

- ・発災事象に応じた避難行動について適切に行えるよう、防災出前講座や広報紙、SNSを活用し啓発を進める。
- ・発災時に自ら避難することが困難な要支援者に対し、地域等による支援が適切に行えるよう支援を行う。

（具体的な取組）

- ・分散避難や備蓄など、自助・共助の啓発の強化（防災出前講座やSNSなどの多様な手段を活用）
- ・災害時要支援者の個別避難計画が適切に運用できるよう、地域を支援（講習会等による地域支援）
- ・区内事業所と地域自主防災組織が連携しあう環境の整備（東成消防署と連携）



地域震災訓練における啓発



災害時協力企業等対象研修会

◆防犯・安全対策

（課題と主な戦略）

- ・複雑化、巧妙化する犯罪の被害防止のための啓発を継続する。
- ・街頭犯罪対策について警察や地域と連携し、区民の防犯意識の向上に努める。
- ・自転車等利用のマナーアップ啓発など、関係機関との連携のもと取組を行う。

（具体的な取組）

- ・就学前児童の防犯啓発、子ども防犯教室等の開催
- ・警察等と連携した特殊詐欺防止の啓発
- ・ヘルメット着用等の自転車等利用に関するルールやマナーの啓発
- ・「安全・安心フェスタ」の開催

	令和5年	令和6年	令和7年
街頭犯罪件数	412件	440件	276件
放置自転車撤去台数	3,286件	3,096件	2,306件

※令和5、6年は1月～12月末。令和7年は1月～8月末の数字



就学前の防犯啓発



安全安心フェスタ



～何かにつけてちようどええまち「ひがしなり」の実現をめざして～

経営課題3 みんなで子どもの育ちや学びを支えるまち



◆令和8年度の基本方針

- ・安心して子育てができ、ひがしなりっ子がすくすく育つよう行政、支援機関、地域、企業等が連携協働して地域社会全体がつながり、子育て家庭を応援する地域づくりを推進する。
- ・子どもたちが夢と希望をもって成長し、一人ひとりが個性や可能性を伸ばしながら「未来を切り拓く力」「将来にわたり学び続ける力」を育むことができるよう、学校園等の関係機関とともに、より良い教育環境の整備を進める。

◆子育て支援

（課題と主な戦略）

- ・子育てを応援するネットワークを推進するため、「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の登録会員の拡大を図るとともに地元協賛店舗との連携をより充実させるための周知活動を行う。
- ・地域の子育て関係機関とのつながりづくりのためのイベントを関係機関との連携により実施する。
- ・子育て支援に関する情報発信や情報誌を発行する。

（具体的な取組）

- ・「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の活用による子育て家庭と地域とのつながりづくりの支援
- ・子育てに役立つ情報の発信やイベントの開催
- ・発達が気になる児童・保護者の相談に応じる心理相談員の継続配置など、相談支援体制の充実強化



ひがしなりっ子・
すくすくつながるクラブ



保育園(所)・幼稚園・認定
こども園等の情報展



ひがしなりっ子・すくすく
つながるスタンプラリー

◆教育環境の整備

（課題と主な戦略）

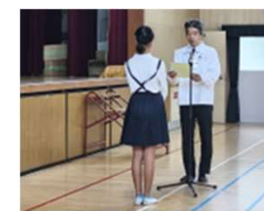
- ・子どもたちが将来に夢と希望を持ち、自分の人生や未来を切り拓いていく力を育むことができる環境づくりを推進する。
- ・区役所、地域、家庭、学校等が連携し、よりよい学校運営と子どもたちの未来につながる「分権型教育行政」をさらに推進する。
- ・豊富な知識や経験を持つ多様な外部人材が各学校で出前授業を行う非認知能力を醸成する取組や、体力の向上や読書習慣の定着につながる子どもたちを褒める取組（区長表彰）などを推進する。

（具体的な取組）

- ・学校長との意見交換会、東成区教育会議の開催
- ・非認知能力等の育成支援
- ・子どもの読書活動推進
- ・国際理解教育の推進
- ・体力向上に向けた取組の推進
- ・平和学習の推進



国際理解教育の推進



読書活動にかかる
区長表彰の実施



平和学習講演会の実施



令和8年度東成区運営方針（素案）概要

資料3

～何かにつけてちようどええまち「ひがしなり」の実現をめざして～

経営課題4 いつまでも自分らしく暮らし続けられるまち



◆令和8年度の基本方針

- ・「気にかける・つながる・支え合う」地域づくりに向け、在宅医療・介護連携などさまざまな取組を活用し、高齢者や支援を必要とする方、その他の配慮が必要な方を地域社会全体で支援する仕組みづくりを進める。
- ・区民が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活することができ、また、主体的・継続的に健康づくりや介護予防など健康寿命の延伸に取り組むことができる環境づくりを推進する。

◆地域福祉の推進

（課題と主な戦略）

- ・お互いを「気にかける・つながる・支え合う」地域づくりに向け、地域の活動者・支援者や専門職など関係者が連携し、高齢者・障がい者その他配慮配慮が必要な方を地域全体で見守り支え合う体制づくりを推進する。

（具体的な取組）

- ・地域福祉活動サポーターの継続的な配置による要援護者への支援コーディネートや地域福祉活動の活性化及びおまもりネット事業を活用した地域におけるつながりづくりの支援
- ・医療・介護・障がい福祉等の関係機関と連携した、誰もが地域で安心して生活できるよう地域課題の解決に向けた検討や情報発信・啓発



おまもりネット手帳



ふれあい型高齢者食事サービス



障がい理解のためのスポーツパネル展



女性会学習会「人生会議について」の様子

◆健康づくりの推進

（課題と主な戦略）

- ・健康寿命の延伸には「生活習慣病の発症や重症化の予防」「ライフステージに応じた生活習慣の改善」「健康を支え、守るための地域づくり」が必要である。
- ・全年齢層を対象に、ライフステージに応じた生活習慣の改善や運動の実践などの取り組みを、健康づくり団体をはじめとした関係機関や地域住民と連携して推進する。

（具体的な取組）

- ・若年層（小中学生）を対象に健康づくりの基本となる食育に関する事業の実施
- ・恒例の「食育&健康フェスタ」を関係機関と連携して実施するとともに壮年期の生活習慣病予防への関心が高まるような体験ブースを設置
- ・高齢期を対象に地域で継続的に介護予防活動に取り組む「いきいき百歳体操」を地域住民と連携して展開
- ・健康づくり団体と連携し住民の身近な場所で健（検）診勧奨チラシの配架及び受診率アップキャンペーンの実施
- ・身近な地域で健康づくり啓発講座の実施



食育授業



啓発チラシ配付



いきいき
百歳体操



食育&健康
フェスタ